

第二編 各 論

第六章 人員問題

目次

第六章 人員問題	四九三
第一節 總說	四九三
第二節 陸軍委員會專門分科會經過	四九三
一、陸軍委員會專門分科會ノ構成	四九三
二、陸軍專門分科會經過	四九四
第三節 人員分科會經過	四九四
一、人員分科會ノ構成	四九四
二、人員分科會議題	四九四
三、實在人員ノ定義	四九五
四、人員分科會ノ休會	五〇二
第四節 幹部會ニ於ケル人員問題討議	五〇二

第六章 人員問題

第一節 總 說

一、人員問題ハ當初條約案第二條第三條及第四條ノ提起スル問題トシテ陸軍委員會ノ議題トナリ同委員會專門分科會ニ於テ取扱ハレタルカ其ノ後一般委員會ノ決議ニ基キ人員分科會設立セラレタル爲陸軍專門分科會ノ事業ハ自然消滅ノ形トナリ其ノ結果專ラ人員分科會ニ於テ取扱ハル、コト、ナレリ

二、人員分科會ハ陸軍專門分科會ノ報告ヲ基礎トシテ先ツ實在人員ノ定義ノ決定ニ着手シ五月十七日以降六月九日迄回ヲ重ヌルコト十一回ニ及ヒタルモ遂ニ全會一致ノ定義ニ到達スルコト能ハス右不一致ノ點ニ關スル最終決定ヲ一般委員會ニ仰クコト、ナレリ

三、然レトモ軍縮會議第一會期ニ於テハ一般委員會ハ右定義ニ關スル最終決定ヲ與フルニ至ラス僅カニ七月二十三日ノ決議中ニ於テ人員ニ關シテハ現實ノ制限及縮少ヲ實行スルコトヲ目的トシ幹部會ヲシテ各國國防上ノ實狀並ニ其ノ軍隊ノ數及質ヲ考慮ニ入レタル上「フーヴァー」大統領案ヲ研究セシムルコトヲ決議セルニ過キス從テ人員分科會モ事實上會議ヲ繼續スルニ由ナク事業休止ノ儘軍縮會議第一會期ヲ終了セリ

第二節 陸軍委員會專門分科會經過

一、陸軍專門分科會ノ構成

人員問題ハ條約案第二條第三條及第四條ニ關連スル問題トシテ陸軍委員會議題ノ劈頭ニ掲ケラレ居リタル關係上同委員會ハ其ノ事業ノ第一着手トシテ先ツ之カ審議ヲ開始スルコトニ決定シ各國政府カ其ノ軍事通報中ニ於テ條約案第二條第三條及第四條中ノ定義ニ與ヘタル解釋並ニ右解釋ヲナスニ當リテ生セル困難及疑問ヲ研究セシムル目的ヲ以テ日、英、米、佛、伊、獨、蘇、白、西、波(蘭)、瑞(典)、瑞(西)及加ノ十三ヶ國專門家ヨリ成ル專門分科會ヲ任命セリ

二、陸軍専門分科會經過

陸軍専門分科會ハ三月十日陸軍委員會副議長「ヴァン、ランシヨット」(和)司會ノ下ニ開會シ(イ)「人員」ノ語ニ與ヘタル解釋如何(ロ)勤務日數計算ノ基礎如何(ハ)人員ノ要素如何ノ三點ニ關スル諮問事項ヲ採擇ノ後同月十六日迄六回ノ會議ヲ開キ右諮問事項ニ對スル各國専門家ノ回答ヲ聴取シ之ヲ綜合ノ上(一)理論又ハ法定人員、豫算人員及實在人員ノ各個ニ付之ヲ採用セル國名ヲ表示スルト共ニ各定義間ノ差違ヲ明カニシ(二)「人員」中ニ包含セシメ又ハ之ヨリ除外セル人員ノ種類ヲ明確ニシ且(三)條約案第二條及第三條中ノ定義及方法ニ關スル若干國専門家ノ一般の意見ヲ摘要セル報告書(D.C.I-4)ヲ陸軍委員會ニ提出セリ

第三節 人員分科會經過

一、人員分科會ノ構成

五月十日一般委員會ハ米國全權ノ幹部會ニ於テナシタル提議ニ基キ會議ハ近キ將來ニ於テ人員問題ヲ考究セサルヘカラサル處各國政府ノ提出セル軍事通報中ノ數字ハ比較シ得ヘキ基礎ノ上ニ立チ居ラサルヲ以テ之ヲ右基礎ノ上ニ還元セシムル爲人員ノ數字研究ニ關スル特別委員會ヲ設置スルコトヲ決議シ(D.C.I-5)右目的ノ爲日、英、米、佛、獨、伊、蘇、白、亞、波(蘭)、瑞(西)、塞ノ十二ヶ國専門家ヨリ成ル人員分科會ヲ設置セリ

二、人員分科會議題

人員分科會ハ五月十七日白國委員「ブルツケール」ヲ議長ニ選任(副議長及報告者ハ別ニ選任セス)シ同議長ノ下ニ開會米國委員ノ提議ニ基キ先ツ人員ノ定義ノ考究ヲナシ然ル後右定義ニ關シテ執ルヘキ手續ヲ考慮スルコトヲ決定シ右趣旨ノ下ニ米國委員ノ起草セル議題案(D.I-6)ヲ基礎トシ討議ノ末左記議題ヲ採擇セリ

(一) 人員ニ關スル陸軍専門分科會報告(D.C.I-4)ヲ基礎トシ人員ノ定義ヲ決定スルコト

(二) 各國ノ軍事通報中ニ記載セラレタル陸、海、空軍人員ノ數字ヲ審查シ且必要ナルニ於テハ右數字ヲ比較シ得ヘキ

基礎ニ置ク目的ヲ以テ前記(一)ニ於テ決定セラレタル定義ニ從ヒ訂正ヲナスコト

(三) 右訂正セラレタル數字ニ依リ表ヲ作成スルコト

(四) 各國ノ軍事通報ニ於テ各國カ「軍隊の組織團體」ナル語ニ與ヘタル解釋ヲ審查スルコト

(五) 軍隊の組織團體ニ關連シ使用セラレタル用語ノ定義ヲ決定スルコト

(六) 軍隊の組織團體人員ノ數字ヲ審查シ且必要ナルニ於テハ之カ訂正ヲナスコト

(七) 右數字ニ依リ此ノ種團體ノ表ヲ作成スルコト

(八) 一般委員會ニ對スル報告ノ起草ヲナスコト

三、實在人員ノ定義

右議題ニ基キ分科會ハ直ニ議題(一)ノ討議ニ入り米國委員ノ定義ニ基キ先ツ實在人員ノ定義ノ決定ニ着手スルコト、ナリ英國委員ノ起草セル左記趣旨ノ定義案(D.I-7)ニ依リ討議ヲ開始セリ

「人員」ノ定義案

(一) 「軍隊」トハ場所及方法ヲ問ハス軍事教育(豫備教育ヲ除ク)ヲ受クル一切ノ人員ヨリ成ルモノトス又一定期間ノ教育ヲ受クル豫後備人員ハ右期間中勤務ノ人員ノ計算中ニ含マルヘキモノトス

(二) 前項ノ「人員」トハ一切ノ將校、候補生、兵、水兵、航空兵及豫備兵又ハ一日ノ勤務ヲナス右ト同等ノ身分ヲ有スル者ヲ意味ス

(三) 連續的勤務ノ場合ニ於テハ毎日ヲ一日ノ勤務トシテ計算ス

(四) 斷續的勤務ノ場合ニ於テハ合計六時間トナル勤務ハ一日ノ勤務ト同等トシテ計算ス

(五) 休暇、病氣、入監、移轉等ノ如キ一時的の缺勤期間ハ之ヲ控除セス但シ歸休ヲ許容セラレタル徵集兵ノ休暇期間ハ此ノ限ニ非ス

右討議中問題トナリタル諸點及右ニ對スル各國委員ノ主張竝ニ討議ノ經過概要ヲ摘記スレハ左ノ如シ

(イ) 英國案第五項ニ關スル 佛國修正案 (D./E/F/5)

英國案第五項ニ關連シ佛國委員ハ其實ノ軍事的勤務ニ服セサル期間ハ考慮ニ入ルヘカラサルモノトスヘシトノ趣旨ノ修正案ヲ提出シタル處英國委員ハ右ハ論理的ニ正シカランモ實際の見地ヨリスレハ英國案ノ方可ナリト主張シ佛國委員ハ本分科會ノ事業ハ數字ヲ比較シ得ヘキ基礎ニ置クニアルヲ以テ論理的ニ正シカルヘキコト必要ナリトテ病氣入院中及移轉旅行中ノ期間ヲ控除セサルコトハ不可ナリト論シ米獨兩國委員ハ英國案ヲ支持セルモ佛國委員ハ主張ヲ固執シテ譲ラス此ノ間白國委員ハ同國軍隊ノ實情ヨリ休暇、病氣入院中及移轉旅行中ノ期間トシテ一割控除スルコト、シテハ如何ト提議セル處佛國委員ハ右控除率ハ各國ノ全人員ニ一律ニ適用セラルヘキ強制的ノモノニ非スシテ國ニ依リ異ナルヘキモノナルニ於テハ之ニ同意シ得ヘク尙一割ハ過多ナルニ付之ヲ五分トシ右割合ヲ超ユル控除率ヲ適用セントスル國ハ其ノ理由ヲ具シテ之ヲ適用スルコトヲ得ルモノトシテハ如何ト述ヘ討議ノ末英國委員モ讓歩シテ之ニ同意シ起草委員會ヲシテ右趣旨ノ案文ヲ起草セシメタリ (D./E/F/5) 第二項)

(ロ) 英國案第一項及第二項ニ關スル 伊國修正案 (D./E/F/7)

英國案第一項及第二項ハ討議ノ經過ニ鑑ミ前記起草委員會ニ於テ便宜上合體シテ單一ノ項 (D./E/F/5 第一項 (a) (b)) トナスコトニ一應纏リタル處右ニ關連シ伊國委員ハ「同等ノ身分ヲ有スル者」トアル中ニハ軍事上ノ任務ニ從事スル軍人ニ非サル者ヲモ含マシムルコトヲ要ストテ修正案 (D./E/F/7) ヲ提出シ英佛伊米各委員會間ニ於テ意見交換ノ結果佛伊兩委員ノ共同提案トシテ前記「同等ノ身分ヲ有スル者」ノ後ニ「行政上、衛生上又ハ獸醫上ノ勤務ヲナス軍籍ニアル官吏又ハ軍屬」ナル説明ノ句ヲ括弧シテ附加スヘキコト、シ一應主義上ノ妥結ヲ見起草委員會ヲシテ D./E/F/6) ノ第一項 (a) ヲ得タリ然ルニ英國委員ハ右ニ關連シ左記趣旨ノ説明的脚註 (D./E/F/6) ヲ附スルコト、シテハ如何ト提案セリ

(一) 「同等ノ身分ヲ有スル者」トハ軍法ニ服スル者及國法上右ノ者ト同等ノ法律上ノ身分ヲ有スルモノト認メラルル右以外ノ者ヲ意味ス

(二) 比較ノ目的上人員數ハ日割平均ニ依ラス月割平均ニ依ルコトヲ得

(三) 左記ハ人員中ニ入ラス

(イ) 僧 侶

(ロ) 看 護 婦

(ハ) 軍隊ニ一時雇傭セララル醫師

而シテ右提案ニ當リ英國委員ハ「同等ノ身分ヲ有スル者」ナル語ハ稍意義不明確ナルモ英國内ニハ右ノ語ヲ適用シ得ヘキ者ナシト考フルカ故ニ右ノ語ニ別ニ定義ヲ與ヘサルコトヲ條件トシ佛伊兩國委員ノ提案ヲ受諾スルノ用意アル旨宣言セリ我方委員ハ本問題ニ關シテハ主義上異議ヲ插ムモノニ非サルモ右ハ實行上多大ノ困難ヲ伴ヒ徒ニ時日ヲ費スノミナラス果シテ有用ナリヤ否ヤモ問題ナリト考フルヲ以テ此ノ種提案ノ撤回ヲ望マント思考ス尤モ分科會ノ多數意見カ右ニ決定スルニ於テハ之ヲ受諾スルノ用意アリト陳述シタル處米國委員モ亦同國ノ實情ニ鑑ミ事實上ノ困難多大ナルコトヲ實例ヲ舉ケテ説明シ我方所説ニ全然同感ナル旨ヲ述ヘ波蘭委員モ同様事實上ノ困難ヲ指摘セリ

次テ前記英國提案ニ關シ英佛伊等ノ委員會間ニ討議ヲ重ネタル後左ノ如キ結果ヲ得結局原案 (D./E/F/5) 第一項 (a) ヲ維持シ英國提案ノ脚註ハ之ヲ附セサルコトニ妥結成立セリ

(一) 英國案第一項ハ前掲同國委員ノ宣言ヲ報告書ニ附加スルコトヲ條件トシテ撤回セラル

(二) 同案第二項ノ代リニ別ニ起草委員會ヲシテ起草セシメタル案ヲ人員ノ定義第四項トシテ追加ス (D./E/F/6) 第四項)

(三) 同案第三項ニ關シテハ報告中ニ於テ一時的ニ軍隊ニ雇傭セラレタル醫師 (看護夫ヲ含ム) ハ人員中ニ含マシメ

サルコトヲ記述スルコトス

(ハ)「軍事豫備教育」ノ意義

英國案第一項中軍事豫備教育ノ問題ハ人員ノ定義ニ關スル問題中最モ激論ヲ生シタル點ニシテ當初ヨリ全然相容レサル佛伊兩案(D/E/19)及(ニ)ノ對立アリ即チ佛國委員ハ豫備教育トハ軍隊ニ許容セラルヘキ身體の成熟年齡ニ達セサル者換言スレハ十八歳未満ノ者ニ付テ云フヘキモノナリト主張セルニ對シ伊國委員ハ年齡ヲ限定セス各國ノ國法上軍事年齡ニ達セサル者ニ對スル教育ノ義ナリ即チ之ヲ伊國ニ付テ云ヘハ二十一歳未満ノ者ニ對スル教育ノ義ナリト主張セリ佛國委員ハ十八歳トセルハ稍々獨斷ノ傾アルモ右ハ各國ノ軍事年齡ヲ比較研究ノ上妥當ナリトシテ採用セルモノナリ十八歳ヨリ二十一歳迄ノ青年ニ對スル教育ハ軍事豫備教育ニ非スシテ入營前ノ準備教育ナリト反駁ン各國ニ依リ相違セル年齡ヲ定ムルコトヲ不可トシ萬國ニ一律適用セラルヘキ比較標準ヲ設定スル爲ニハ一定ノ年齡ヲ協定スルコト絶對必要ナリト力説シ英國、「ユーゴースラヴィア」及波蘭委員之ヲ支持セリ我方委員ハ伊國委員ノ主張ニ同感ノ意ヲ表シ日本ニ於テハ國法上兵役年齡ハ二十歳ニシテ十八歳ヨリ二十歳迄ノ青年ハ任意のニ軍事豫備教育ヲ受ケ居ルモ此等青年ノ全部カ入營スルモノニ非ス從テ此ノ種教育ヲ受クル青年ハ萬一ノ場合ニ於ケル潛在の戰爭勢力タルニ過キス日本委員ノ見ル所ニ依レハ軍事豫備教育トハ兵役年齡前ノ教育ノ義ニシテ兵役年齡ハ各國ニ依リ異ナルヘキモノナリ若シ單ニ比較ノ目的ヲ以テ此等青年ノ數ヲ表示スルコトヲ必要トスルニ於テハ別ニ異議ナキモ然ラスシテ此等青年ノ數ヲ人員中ニ算入セントスルモノナルニ於テハ日本委員ハ本問題ヲ一般委員會ニ回附センコトヲ主張セサルヲ得スト述ヘタリ伊國委員モ佛國案ノ如ク入營前ノ青年ヲ人員中ニ計算セントスルハ軍縮準備委員會ニ於テモ考慮ニ上ラサリシ全然新シキ問題ナリ即チ條約案第三十一條ハ強制的の軍事豫備教育ヲ受クル青年ノ數ノ任意の公表ヲ規定シ居ルニ過キス從テ本問題ハ本分科會ノ權限外ニ屬シ一般委員會ニ於テ考慮セラルヘキ問題ナリト論シ此ノ點ニ關シ佛國委員ト妥協ニ達スルコトハ到底不可能ナルニ付右「軍事豫備教育」ナル語ヲ削除スルコトトシテハ如何ト述フ佛國委員ハ

本問題ヲ目シテ本分科會ノ權限外ニ屬ストノ議論ハ謬見ナリトテ準備委員會ノ記錄ヲ引用反駁シ妥協案トシテ「軍事豫備教育」ナル語ヲ削除シ其ノ代リ「十八歳ヲ超ユル」ナル語ヲ「一切ノ人」ナル語ニ附加センコトヲ提議セリ上述ノ如クニシテ佛伊兩國委員共互ニ其ノ當初ノ主張ヲ固執シテ讓ラス論議益々紛糾スルニ至レルヲ以テ議長ハ之以上討議ヲ繼續スルモ無益ナリトナシ佛伊兩案ヲ票決ニ問フコトヲ提議シ票決ノ結果贊成七反對四(日伊獨蘇)ニテ佛國案主義トシテ採擇セラレ之ニ多少ノ修正ヲ加ヘ人員ノ定義第五項(D/E/16)第五項)トシテ追加スルコトナレリ右採擇案ニ對シテハ勿論伊國委員ハ正式留保(D/E/11)ヲナシ獨逸及蘇國委員モ亦同様ノ留保ヲナセリ

(ニ) 軍事教育ノ意義

定義案第一項中軍事教育ノ意義ニ關シ蘇國委員ハ兵營、陸軍學校又ハ國家監督ノ下ニアル團體ノ營舍内ニ於テ與ヘラルル軍事教育ノ意ニシテ私的團體ニ於テ任意のニ軍事教育ヲ受クルモノヲ含マスト解ス此ノ點ヲ明瞭ナラシメタシトテ「場所及方法ヲ問ハス」トアル代リニ前記ノ趣旨ヲ明記セル修正案(D/E/11)ヲ提出セルモ佛國及波蘭委員等ノ反對アリ票決ノ結果七票對五票ニテ否決セラレタリ(D/E/21) 附屬書三參照)

(ホ) 人員分類問題

佛國委員ハ定義案ノ第六項トシテ人員數ハ比較ノ目的上(イ)初步即チ六ヶ月ノ軍事教育ヲ完了セサル新兵(ロ)將校(ハ)少クトモ二ヶ年ノ勤務ヲ完了セル陸海空軍ノ他ノ軍人(ニ)本國駐屯陸海空軍ノ人員(ホ)海外駐屯ノ陸海空軍ノ人員ノ五ニ分類シテ表示スヘシトノ提案(D/E/13)ヲ提出シタル處伊國委員ハ右ハ諸種ノ原則ノ問題(D/E/21) 附屬書二參照)ヲ提起スルモノナルカ故ニ限定セラレタル小數ノ委員ヨリ成ル本分科會ノ權限ヲ逸脱スル虞アルモノト思考スト述ヘ獨逸委員ハ條約案第三十條ニ依レハ人員ニ關スル報道ハ任意のトナリ居ルニ拘ラス佛國提案ハ之ヲ強制的トナスモノナルカ故ニ不可ナリ又若シ佛國案ノ基礎ニ於テ比較ヲナストセハ獨逸ハ右ノ中ニ既教育豫後備兵ヲ含マシメンコトヲ要求セントスルモノナリト述ヘ伊國委員ノ所言ヲ支持シ英國委員ハ佛國案カ比較ヲ容易ナラシムヘキ

コトハ之ヲ認ムルモ右ハ余リニ細別セラレ居ルヲ以テ其ノ個々ニ付相當ノ議論ヲ生シ本分科會ノ事業ヲ益々遷延セシムル虞アリトシ比較ノ目的ナルニ於テハ條約案第三十條ノ基礎ニ依ル各國軍事通報ノ數字ニテ充分ナリト思考スト述ヘ蘇國委員ハ佛國案ノ趣旨ニハ賛成ナルモ目下ノ處未タ之ヲ討議スヘキ時機ニ非スト述ヘタリ依テ佛國委員ハ本分科會ノ權限ニ關シテハ之ヲ狹義ニ解スルモノト廣義ニ解スルモノトノ二派（佛國ハ後者ニ屬ス）アル處此ノ點ハ極メテ重要ナルニ付寧ロ一般委員會ニ移牒シ其ノ決定ヲ仰クコトトシテハ如何ト述ヘ種々討議ヲ重ネタル後結局前記佛國案ニ付テハ採否ノ票決ヲ執ラス本問題ニ關スル佛伊兩國ノ論點ハ之ヲ一般委員會ニ移牒スルコトトナレリ

上述ノ如ク實在人員ニ關スル討議ハ諸種ノ點ニ於テ意外ニ紛糾ヲ醸シ全會一致ノ定義ヲ得ルコト能ハサリシモ兎モ角多數意見ノ一致セル左ノ如キ定義案 (D.F.F.(cc)) ニ到達スルコトヲ得タリ

比較表ノ基礎トシテ用ヒラルヘキ軍隊實在日割平均人員ノ定義

- (一) 陸海空軍ニ於テ勤務中ノ人員ハ左記ヨリ成ルモノトス
 - (イ) 一切ノ將校、士官候補生、下士、兵、水兵、航空兵、豫備兵及同等ノ身分ヲ有シ一日ノ勤務ヲナス他ノ一切ノ人
 - (例ヘハ行政上、衛生上又ハ職醫上ノ勤務ヲナス軍籍ニアル官吏又ハ軍屬)
 - (ロ) 場所及方法ヲ問ハス軍事教育（軍事豫備教育ヲ除ク）ヲ受クル一切ノ人特ニ一定期間ノ教育ヲ受クル豫備人員ハ人員ノ計算上右期間中勤務セルモノトス
- (二) 連續の勤務ノ場合ニ於テハ毎日ヲ一日ノ勤務トシテ計算ス但シ各國ノ陸海空軍ノ勤務人員ヲ比較スル爲メ入院中ノ者、二日以上休暇ヲ取ル者及歸休トナリタル者ハ勤務人員總計ヨリ控除スルコトヲ得一般ニハ右控除ハ人員統計ノ五分トスルコトヲ得尤モ前記欠勤ノ歩合カ上記歩合ヨリ大ナル國ハ計算ノ基礎ノ詳細ヲ示シ右自國ノ歩合ニ應ジ控除ヲナスコトヲ得
- (三) 斷續の勤務ノ場合ニ於テハ合計六時間トナル勤務ハ連續の勤務ト比較スル爲メ一日ノ勤務ト同等トシテ計算ス

(四) 人員ハ日割平均人員ノ方法ニ依リ計算スヘキモノトス尤モ連續の勤務ノ場合ニ於テ人員數ハ比較ノ目的上若シ月々ノ變動極メテ微細ナル場合ハ各月ノ一定日ニ於ケル年割平均人員ヲ基礎トスルコトヲ得

(五) 「軍事的豫備教育」ナル用語ハ一般ニ各種軍隊ニ於テ志願服役ヲ許容スヘキ年齡即チ十八歳ニ達セサル者ニノミ適用セラル、モノトス

少クトモ十八歳ノ青年ニシテ軍事教育ヲ受クル者ハ若シ右教育カ學校及正規軍隊ノ單位ノ外ニ於テ與ヘラルル場合ハ之ヲ別個ニ分類スルコトヲ得

右定義案ハ前述ノ如ク多數決ニテ一應分科會ノ決定ヲ經タルニ過キササルモノニシテ殊ニ軍事豫備教育ノ問題ニ關連セル各國間ノ意見ノ不一致ハ依然其ノ儘トナリ居ルヲ以テ右案ヲ適用シ實在人員ノ數字ヲ比較スルコトハ不可能ナルコト云フ迄モナシ依テ米國委員ハ出來得レハ右ノ點ヲ調整シ且比較ノ目的ニ副フヘキ趣旨ニテ右案第一項ヲ修正セントシ調停案 (D.F.F.(16)) ヲ作成提出セル處該修正案ハ提案者ノ意圖スル所トハ反對ニ却テ論議ヲ蒸返ス結果ヲ生シ到底妥協ノ不可能ナルヲ思ハシムルニ至レリ茲ニ於テ英國委員ハ局面打開ノ爲メ一案 (D.F.F.(15)) ヲ出シ右定義案ノ文言ハ其ノ儘トシ(一) 右案第一項(ロ)及第五項ハ單ニ多數決ヲ以テ採擇セラレタルモノナルヲ以テ之カ最終決定ヲ仰ク爲メ一般委員會ニ回附スルヲ要ス(二) 右最終決定未決ノ間ハ右定義ニ基ク數字ノ提出ハ各國ノ任意トストノ案ヲ提出セリ右ニ對シ佛國委員ハ該數字ハ最終決定前ニ於テハ嚴密ナル比較標準ニ非ストノ趣旨ヲ含マシメンコトヲ主張シ英佛委員會間ニ於テ懇談ノ末佛國委員主張ノ趣旨ヲ附加シ之ヲ採擇セリ (D.F.F.(14) 本文參照)

依テ議長ハ(一) 本件一般委員會回附ノ方法トシテ軍縮會議議長ニ對スル書翰ノ形式ヲ採ルコト(二) 右書翰ニ於テハ前記採擇案ノ趣旨ニテ一般委員會ノ最終決定ヲ仰クコト(三) 既述(ホ)ノ問題ニ關連シテ起生セル佛伊委員會間ノ爭點及本分科會ニ於ケル討議ノ經過中各種ノ問題ニ關シテ爲サレタル宣言並ニ未タ討議ニ上ラサルモ恐ラク全會一致ニ到達シ難キ各種ノ問題等ヲモ併セテ一般委員會ニ回附シ其ノ指示ヲ仰クコトトシタシト提議シ其ノ趣旨ニテ軍縮會議々長宛書翰

(D/EF/210) 及同附屬書一、二、三、四)ヲ決定シ六月九日之ヲ送達セリ

四、人員分科會ノ休會

前記書翰決定後議長ハ一般委員會ノ最終決定ヲ得ル迄ハ數字ノ比較ヲナスモ無益ノ觀アルヲ以テ右決定入手迄分科會ヲ休會シテハ如何ト提議シタル處佛國委員ハ法定人員ノ問題ヲ考究スルモ可ナルヘク又議題第四項軍隊の組織團體ノ問題ヲ考究スルモ可ナルヘク何レニスルモ事業ヲ繼續スヘシト述ヘ蘇國委員ハ直ニ實在人員ノ比較ニ著手スヘシト主張シ佛國委員モ亦何レニスルモ右比較ニ從事スルコトハ無益ニ非サルヘシトテ之ヲ支持セリ依テ之ヲ票決ニ問ヒタル處其ノ結果ハ議長提議否決セラレ分科會ハ休會ヲナス事業ヲ繼續スルコトニ一應決定セリ然レトモ右決定ニ對シテハ議長ニ於テ深ク不滿ノ意ヲ表シタル爲英國委員ハ議長ノ意ノアル所ヲ汲ミ調停案トシテ二週間休會說ヲ提議シ其ノ間議長ニ於テ一般委員會カ成ルヘク早く最終決定ニ達スル様盡力センコトヲ希望セル處佛獨伊各委員又右ニ同意シ結局分科會ハ二週間休會シ右休會中佛國委員ノ提出セル軍隊の組織團體ニ關スル諮問事項(一)(二)(三)ニ對シ各委員ヨリ書面ニ依リ回答ヲナスコトナレリ然レトモ後述ノ如ク一般委員會ノ最終決定ハ近キ將來ニ於テ入手ノ見込ナク分科會モ亦二週間ヲ經過セルニ拘ラス再開ノ氣配ヲ示サス人員問題ニ關スル事業ハ事實上中止ノ狀態ニテ軍縮會議ノ休會ヲ迎フルニ至レリ

第四節 幹部會ニ於ケル人員問題討議

軍縮會議議長ハ前節所述ノ人員分科會議長ヨリノ書翰ニ接スルヤ其ノ取扱振ニ關シ六月十四日幹部會ニ對シ同分科會議長「ブルッケール」、同分科會設置ノ發案者米國全權「ギブソン」及報告者「ベネシ」ノ三名ヲシテ關係各國全權部ト連絡ヲ執リ右分科會設置ニ關スル一般委員會決議ノ解釋ヲ決定セシメ其ノ結果同決議ノ變更ヲ要スルニ於テハ更ニ一般委員會ノ承認ヲ求ムルコトトシタシト提議シ右ニ決定セリ

依テ右三名ハ人員分科會議長ノ書翰及右附屬書研究ノ結果七月五日幹部會ニ對シ(一)一般委員會ニ對シ適當ノ時期ニ人員分科會議長ノ諮問ニ對スル回答ヲ決定スヘキコトヲ要請スルト共ニ(二)人員分科會ニ對シ左記暫定議題ニ依リ實在人

員ノ日割平均數ヲ整理スルコトヲ勸告ストノ趣旨ノ決議案(D/Bureau/12)ヲ提出セリ

暫定議題

一、軍隊

(一) 本國駐屯軍隊人員

(イ) 將校

(ロ) 初歩即チ六ヶ月ノ軍事教育ヲ完了セサル新兵

(ハ) 二年以上ノ勤務ヲ完了セル將校以外ノ軍人、候補生、下士及兵(右ト同等ノ階級ノ者ヲ含ム)

(ニ) 將校、候補生、下士及兵(右ト同等ノ階級ノ者ヲ含ム)ノ總人員

(註) 但シ一般委員會ノ決定前ニ於テハ(ロ)及(ハ)ノ數字ノ提出ハ任意的トス

(二) 海外駐屯軍隊人員

(イ)

(ロ) (一)ニ同シ

(ハ)

(ニ) (註) (一) (註)ニ同シ

(三) 一定期間ノ教育ヲ受クル豫後備人員

(イ) 將校

(ロ) 其ノ他ノ人員

一般委員會ハ下記要素ニ關シ數字ヲ計上スヘキヤ否ヤノ點ヲ決定スルコトヲ要ス分科會カ上記(一)(二)及(三)ノ要素

ニ關シ數字ノ計上ヲ完了セル際若シ一般委員會カ右ノ點ニ關シ決定ニ到達セサル場合ニ於テハ分科會ハ分科會自身ノ右ノ點ニ關スル意見ヲ一般委員會ニ報告スヘシ

一般委員會ノ決定前ニ於テハ人員ノ數字ヲ比較可能トナスヘキ最終決定ハ見合スヘキモノナルコト勿論ナリ

(四) 軍事豫備教育ヲ受クル十八歳以下ノ青年

(五) 上記ニ包含セラレス且軍隊外ニ於テ場所ト形式ヲ問ハス軍事教育ヲ受クル他ノ人員

二、軍隊的組織團體

(六) 秩序維持ニ參與シ且本國ニ駐屯スル軍隊的組織團體人員

(イ) 將 校

(ロ) 他ノ階級ノ者

(七) 本國ニ駐屯スル右以外ノ軍隊的組織團體人員

(イ)

(ロ)

(八) 秩序維持ニ參與シ且海外ニ駐屯スル軍隊的組織團體人員

(イ)

(ロ)

(九) 海外ニ駐屯スル右以外ノ軍隊的組織團體人員

分科會カ實在人員ニ關スル數字ノ計上ヲ完了セル場合ハ同様ノ方法ニテ法定人員ニ關スル數字ヲモ計上スヘシ

右決議案ニ對シ獨逸全權ハ右ハ人員分科會ノ要求スル回答ヲ與ヘ居ラサルニ付同分科會トシテハ事業ヲ繼續シ得ル限りニ非ストテ反對シ英國全權ハ準備委員會ニ於テハ海軍人員ハ其ノ移動性ニ鑑ミ領土別制限ヲナササルコトニ決定シ居ル處右

決議案ハ其ノ點ニ付相違アリト指摘シ又日本全權ハ(一)或ル點ニ於テ獨逸全權ノ所說ニ贊成シ(二)豫後備人員ニ付別ニ計算スルコトトナリ居ルハ條約案ト異ナル所アリ英國全權主張ノ如ク條約案ト一致セシムルヲ可トセスヤ若シ原案ノ儘採擇セララルルニ於テハ日本トシテハ一般委員會及人員分科會ニ於テ更ニ主張スル所アルヘキヲ留保スト述ヘ其ノ他伊國、瑞典、蘇國等ノ全權ヨリモ夫々意見ヲ開陳スル所アリ結局議長ヨリ右決議案ヲ幹部會ノ決議トナサス其ノ儘一般委員會ニ取次クヘキコトヲ提議シ右ニ決定セリ然レトモ其ノ後一般委員會ハ七月二十三日採擇決議案ノ準備ニ忙殺セラレ人員問題ニ關シテ何等決定ヲナスノ餘裕ナク人員分科會モ前述ノ如ク休會ノ儘トナリテ今日ニ及ヘリ